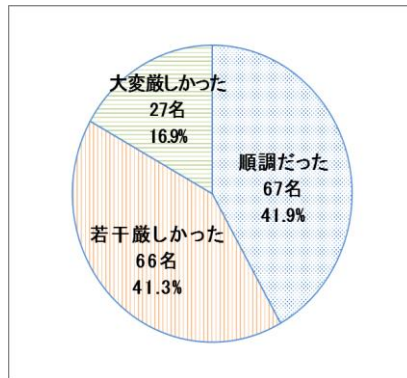


当協会では、2012 年より主催する「新入社員合同研修」の参加者を対象に「新入社員意識調査」を実施しており、今回は参加者 160 名（46 社より男性 114 名、女性 46 名）全員から回答を得た。（調査日：2017 年 4 月 5 日）

就職活動を振り返って「順調だった」が就職売り手市場を反映して、調査開始以来最高値の 41.9%となった。また、今の就職先でいつまで働くかの問いに「定年まで」が 47.5%と 5 年ぶりに 50%を割り込み、4 人に 1 人が「いずれ今の就職先を離れる」などの結果となった新入社員意識調査を取りまとめた。

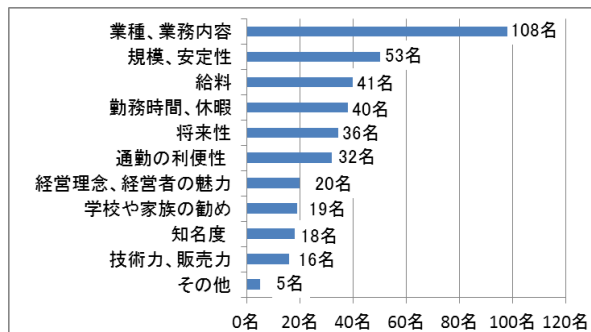
問 1. 就職活動を振り返って

「順調だった」が 67 名(41.9%)と、就職売り手市場を反映して、調査開始以来初めて 3 択の中で一番多い回答数となり、また、割合も初めて 40%を超えた。一方、「若干厳しかった」は 66 名(41.3%)とほぼ例年どおりの割合だったが、「大変厳しかった」(27 名・16.9%)は調査開始以来一番低い割合となった。



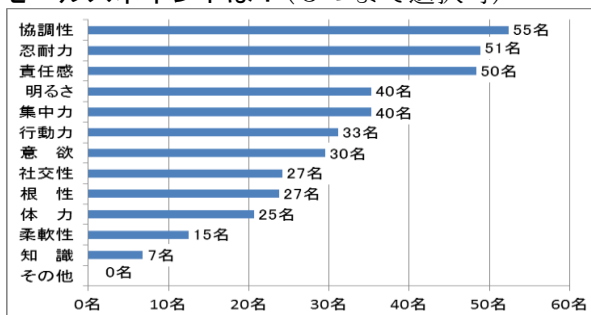
問 2. 就職先を選ぶ際に重視した点は？（3 つまで選択可）

「業種・業務内容」が 108 名と最も多く、6 年連続のトップ。以下やや差があって「規模・安定性」(53 名)、「給料」(41 名)、「勤務時間・休暇」(40 名)等が続いている。



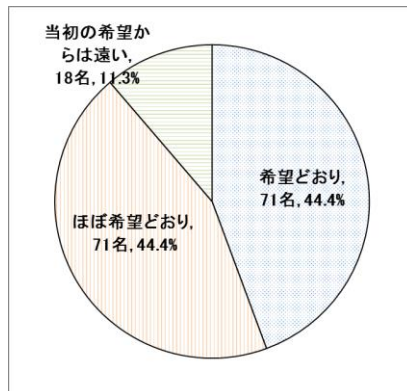
問 3. 社会人としての自身のセールスポイントは？（3 つまで選択可）

「協調性」55 名、「忍耐力」51 名、「責任感」50 名の 3 項目が 50 名以上であった。次に「明るさ」と「集中力」が 40 名で続いている。「協調性」は 2 年ぶりに 1 位になった。



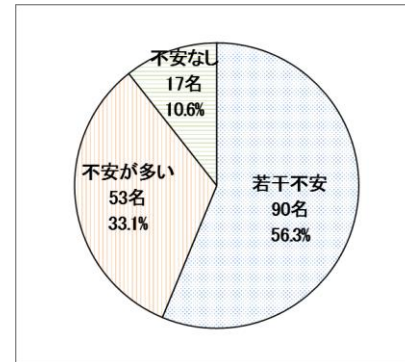
問 4. 就職した企業は？

「希望どおり」と「ほぼ希望どおり」はいずれも 71 名(44.4%)の回答であった。両者を合わせると 142 名(88.8%)で、約 9 割を占めた。一方、18 名(11.3%)が「当初の希望からは遠い」と回答しているが、10%を超えたのは 5 年ぶり 2 回目となった。



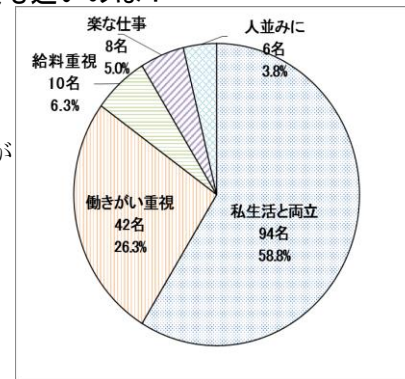
問 5. これからの職場生活に対して

入社直後での調査であり、「若干不安がある」(90 名、56.3%)と「不安が多い」(53 名、33.1%)を合わせると 143 名 (89.4%) で、約 9 割を占めた。「不安はない」は 17 名(10.6%)であった。



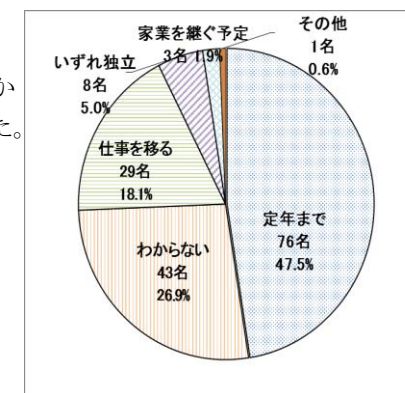
問 6. 「働く」ことについて自分の考えに最も近いのは？

「仕事も大事だが家庭や私生活も大切にしたい」とする人が 94 名(58.8%)と約 6 割を占めた。「働きがいがあれば仕事の苦勞をいとわない」が 42 名(26.3%)とほぼ例年並みの回答であったが、「仕事は楽な方がいい」は 8 名(5.0%)で、調査開始以来 2 番目に高い割合であった。



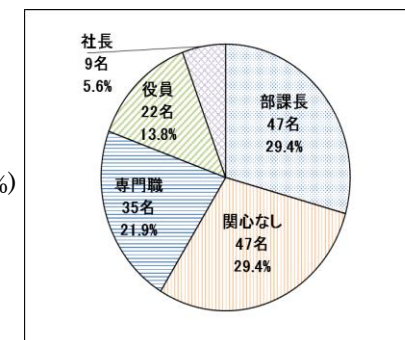
問 7. 今の就職先でいつまで働こうと思いますか？

「定年まで働きたい」が 76 名(47.5%)で最も多かったが、5 年ぶりに 50%を割り込む回答となった。次が「わからない」で 43 名(26.9%)、3 番目は「将来は別の仕事に移るかもしれない」で 29 名(18.1%)と続いているが、「いずれ独立」「いずれ家業を継ぐ」を加えると 40 名(25.0%)が今の就職先を「いずれ離れる」としている。（「いずれ離れる」の過去 5 年平均割合 18.5%）



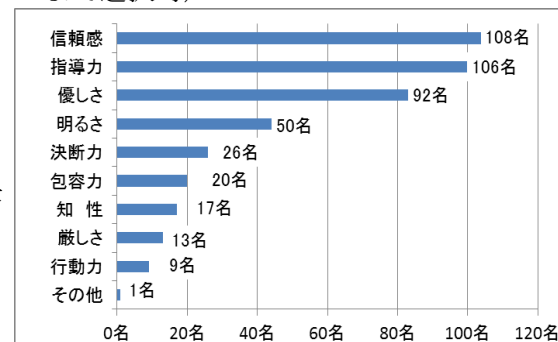
問 8. 自身の昇進について、どこまで目指しますか？

「部課長クラス」と「昇進にあまり関心がない」がいずれも 47 名(29.4%)で最も多く、以下「専門職」35 名(21.9%)、「役員クラス」22 名(13.8%)と続いている。「社長」は 9 名(5.6%)で最も少なく、調査開始以来 2 番目に低い割合であった。



問 9. 上司に求めるものは？（3 つまで選択可）

「信頼感」が 108 名で最も多く、次が「指導力」(106 名)、「優しさ」(92 名)の 3 項目が例年どおり多かった。次に「明るさ」(50 名)、「決断力」(26 名)等が続いている。

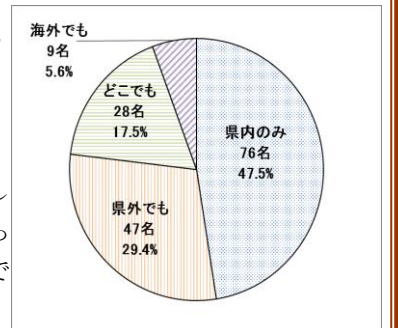


問 10. 理想の上司は有名人にたとえると誰ですか？

具体的に有名人の名前を記載した回答者 90 名から、有名人 53 名の名前が挙がった。最も多い回答が「イチロー」で 7 名、続いて「北野武」6 名、「松岡修造」「明石家さんま」「内村光良」がいずれも 5 名であった。

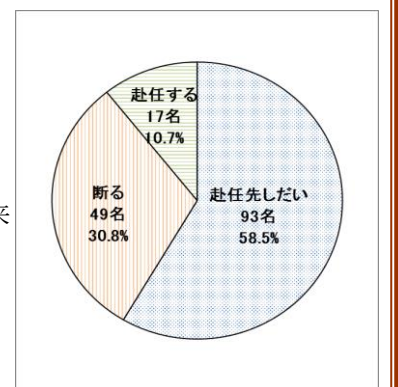
問 11. 働く場所について自分の考えに最も近いのは？

「富山県内でずっと働きたい」が 76 名(47.5%)で最も多かった。「富山県内だけでなく県外でも仕事をしてみたい」が 47 名(29.4%)、「働く場所にはこだわらない」が 28 名(17.5%)で続き、「機会があれば海外でも」は 9 名(5.6%、3 年ぶりに 5%超)であった。



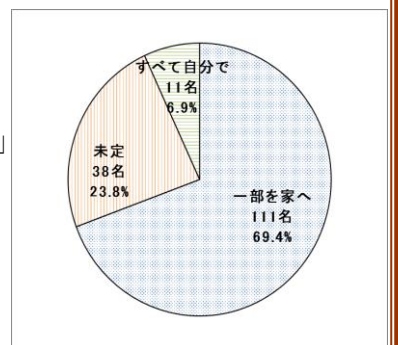
問 12. 将来、あなたに海外転勤の打診があったら？

「国・地域しだいで検討する」が 93 名(58.5%)で最も多かった。「断る」は 49 名(30.8%)で調査開始以来初めて 30%を超えた。「国・地域を問わず赴任する」は 17 名(10.7%)であった。



問 13. 給料の一部を毎月「家への入金(同居の家計費や親元への仕送り)」に充てますか？

「給料の一部を家へ入金」が 111 名(69.4%)、「未定」が 38 名 (23.8%) で続き、「すべて自分で使う」は 11 名(6.9% 調査開始以来最低)で最も少なかった。



問 14. 最初の給料で家族にプレゼントをしますか？

「プレゼントすることを考えている」が 103 名(64.4%)で、「特に予定はない」の 57 名(35.6%)を大きく上回り、ほぼ例年並みの回答であった。

問 15. 日常的な情報収集メディアは？（3 つまで選択可）

スマホ世代を反映して、「携帯・スマホサイト」が 127 名(割合 32.9%)で、2 年連続の単独トップ。調査開始時の 2012 年の割合 16.0%と比べてほぼ倍増している。「テレビ」が 120 名で続き、次いで「PC インターネット」の 59 名が続いている。

